

WCRR 2011の開催に向けて

WCRR (World Congress on Railway Research), 世界鉄道研究会議は、1992年に行われた鉄道総研発足5周年記念の国際講演会で講演された方々の組織を中心に、鉄道における研究開発を主題とした国際会議の必要性が認識され、定期的に開催する国際会議として発足したものです。第1回は1994年にフランス国鉄の主催によりパリで開催され、その後、米、伊、日、独、加、英、韓と続き、第9回となるWCRR 2011は再びフランスに戻って、リールで本年の5月22日(日)から26日(木)の日程で開催されます。リールはフランドル地域の中心地として栄えた長い歴史を持つ都市です。パリ、ロンドン、ジュネーブのいずれからも高速列車で1時間程度と交通至便なところに位置し、旧市街のリール・フランドル駅と新市街のリール・ヨーロッパ駅の2駅にTGVが停車します。メイン会場は図1に示すリール・グランパレという会議施設ですが、晩餐会はフランスでルーブルに次ぐとも言われる市立美術館で催され、開始前には展示品の観覧もできる予定です。

今回投稿された論文は712件に達し、各国の専門家によって査読された結果をもとに、オーラルセッション225件、ポスターセッション136件の論文が選定されました。投稿者への確認作業などを経て、最終的な発表論文が決定される予定です。オーラルセッションでは、5つのセッションが平行に10回の時間帯で進行され、計49のセッションが予定されています(うち1回は4セッションの平行)。その合間にポスターセッションが催されます(表1)。

プレナリーセッションは、パネルディスカッション形式で計3回行われ、世界各国からの有識者が「サービス」、「効



図1 WCRR2011の会場となるリール・グランパレ

率・環境」「将来への挑戦」をそれぞれテーマに議論を行う予定です。最終日にはテクニカルビジットが催され、ユーロトンネル、車両整備基地、指令所、試験設備など多彩な場所への見学ツアーが予定されています。

WCRR2011のホームページ(<http://www.wcrr2011.org/>)にアクセスいただくと、最新の情報や参加申込み・ホテル手配などの情報が得られます。またスポンサーや展示の募集も行われております。世界の鉄道技術の研究開発の最前線に触れられ、また多くの専門家と知り合えるよい機会ですので、ぜひ出席をご検討ください。多数の方のご参加をお待ちしております。早期割引期間は3月7日までです。

(国際業務室 後藤浩一)

表1 WCRR2011のスケジュール

5月22日(日)	5月23日(月)	5月24日(火)	5月25日(水)	5月26日(木)
	開会式	プレナリーセッション2	プレナリーセッション3	テクニカルビジット
	プレナリーセッション1	オーラルセッション	オーラルセッション	
	ポスター coffee break	ポスター coffee break	ポスター coffee break	
	オーラルセッション	オーラルセッション	オーラルセッション	
	昼食	昼食	昼食	
	オーラルセッション	オーラルセッション	オーラルセッション	
参加受付開始	ポスター coffee break	ポスター coffee break	閉会式	
	オーラルセッション	オーラルセッション	ポスター	
歓迎レセプション	ポスター	晩餐会(リール美術館)		